

平成28年11月20日

群馬県環境アドバイザー各位

群馬県環境アドバイザー連絡協議会
代表 須永 徹

「みんなのごみ減量フォーラム」反省会開催通知

11月8日に県と共催で開催した「平成28年度みんなのごみ減量フォーラム」は、県内各地から県民の皆さん、環境アドバイザー、市町村職員など94名の参加があり、盛会のうちに終了しました。

今回のフォーラムは、前年度より1か月早く準備期間も短い中での開催となりましたが、環境アドバイザーの皆さんにご協力いただき、無事実施することができました。ありがとうございました。

フォーラムの準備段階から当日の進行、フォーラムの内容等について、アンケート結果も見ながら、振り返りと意見交換を行い、また次年度に向けた話し合いも行いたいと思います。

つきましては、下記のとおり反省会を開催しますので、フォーラムの準備、運営に関わった方、当日参加された方は是非、ご参加ください。多くの皆様の参加をお待ちしています。

記

- 1 日時 平成28年12月13日（火）13：30～15：00
- 2 場所 群馬県庁 293会議室（29階）
- 3 内容
 - （1）フォーラムの感想と意見、反省
（フォーラム準備段階～当日の運営について）
 - （2）アンケート結果報告とアンケート結果の分析と意見交換
 - （3）今回のフォーラムを今後どう活かすかについて意見交換
 - （4）次年度のフォーラムについて

問い合わせ・連絡先

群馬県環境アドバイザー連絡協議会

副代表 吉澤 敏則（090-1619-0093）

三毛新聞

11月21日

月曜日 先勝

「群馬県民は全
国で最もごみを多
く出す県民です」。
前橋市で今月開か
れた県環境アドバ
イザ―連絡協議会
などが主催したごみ減量
オースラムで県の担当者が発
した言葉だ。県の調査では、
この事実を県民の約8割が
知らないという▼2014
年度の一般廃棄物処理事業
実態調査で、一般家庭がご
みステーションに出す生活
系可燃ごみは、1人1日当
たり全国平均4.25kgに対
し、本県は5.80kgで最下
位だった▼オースラムの講
師は、県民がごみ減量化や
地球温暖化対策としてライ
フスタイルを見直さなけれ
ばならないと指摘した。使
い捨ては昔の話とし、地球
を汚さないという強い意識
を持つことが重要だ▼ごみ
の種別では「紙・布」と生ご
みがそれぞれ全体の3分
の1程度を占める。紙は分
別することで再生でき、生
ごみは堆肥化したり必要な
量は買い、食べ残さない
ことで減らせる▼今月開催
された県高校家庭クラブ連
盟研究発表会で、最優秀賞
に選ばれた生徒のテーマは
「祖母から学ぶEcoLi
FE」。自宅から出るごみ
袋の数が多いうことが研究の
きっかけだった▼ごみの量
が少ない祖母から、野菜の
皮も漬物にして食べたり、
古い衣料はリメイクすると
いった知恵を学び、実践す
ることで着実にごみを減
らした。身近なところに知
恵はある。やる気と継続が
ライフアウトの鍵となる。

2016.11.21